パソコン小話（２８６）

2019/12/20

エクスプローラーの使い方　４：ファイルの表示について

Windows１０のエクスプローラーに付いては、小話３９，５２で説明していますが、整理して紹介します。

パソコン操作は、結果は同じでも操作の過程は、幾通りもあります。小話では、その一例を紹介している事をご承知下さい。使い慣れた方法で操作いただいてかまいません。

同じファイルでも、設定によって図柄(見え方)が違います。主な図柄を

紹介します。

まず、エクスプローラーを開きます。次に見本として、ピクチャに保存されている写真ファイルを例として説明します。

１．ＰＣの下、ピクチャをクリック　→　講演会・・・・写真が表示される

　　（各々のパソコンによって違います、ここでは見本です）

　　→　表示　→　特大アイコン　→　　写真が大きく表示された



　レイアウト欄を色々、選んでいくと、同じ写真ファイルでも見え方が違います。用途に応じて切り替えて見ます。

**これだけ、矢印があると見にくいと思いますが、じっくりと操作して下さい。**

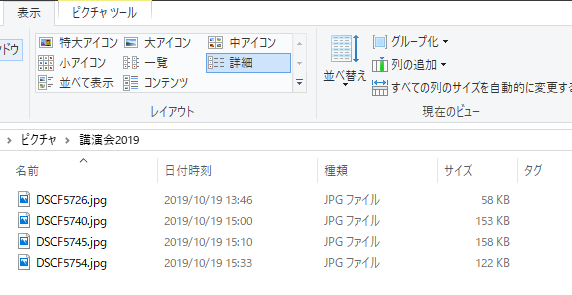
２．表示の見本

　①特大アイコン････写真は、大きい方がよく分かる。ダブルクリックすれば、写真閲覧ソフトで表示される。



　②詳細････更新日付やファイルの種類、サイズが分かる

　　　　　　ダブルクリックすれば、写真閲覧ソフトで表示される。



よく使われるのは、特大アイコン、大アイコン、詳細でしょう。

他の方と、画面の見え方が違うような時は、ここの表示を確認して

みましょう。

以上